



**第75号**

2016. 9. 30

(公社)津法人会 青年部会

津市広明町121番地

津税理士会館4階

TEL(059)225-1302

<http://www1.mint.or.jp/~hojinkai/seinenbu/>

## 提 言

## 真の地方創生－総論優先・各論劣後

三重県内における近年の行事として、2005年から始まった第62回式年遷宮は2013年には正遷宮が斎行され、本年2016年は第42回先進国首脳会議（伊勢志摩サミット）が開催されました。また2018年にインターハイ、2020年東京オリンピックの翌年2021年には46年ぶりの国民体育大会（第76回三重とこわか国体）が三重の地で盛大にとりおこなわれようとしています。

これらは三重県知事をはじめ地元政財界・県民市民の強い思いや働きかけが実を結んだ結果であると思われます。また原則として20年ごとに全ての社殿を造り替えて神座を遷すこの式年遷宮行事において一説では（私の業界全国組織顧問－東京大学名誉教授の研究発表）“世の中は式年遷宮が行われる度に、静（暗）と動（明）の時代（約20年間）を繰り返す”と言われています。出来事を列記するまでもありませんが、湾岸戦争・アメリカ同時多発テロ・リーマンショックや東北大震災という今回の遷宮前の静（暗）の時代から、遷宮を機に動（明）の時代に移ってきたのかなという気が致します。

まさしく“神のおかげ”により私たち日本人（三重県人・津人）は前に向けて生活をしています。でも世の時代はいろいろなことが繰り返され良いこともあれば悪いこともあります。“神頼み”に頼り今は良いかもしれません、前を向いて何もしなければ良いことも永遠に続くことはありえないでしょう。次の式年遷宮がある2033年にはまだ時間がありますが、この“動”的時代に次の目標に向けて何かをする（しておく）必要があると思われます。

その今考えるべきゴール（目標）とは“真の地方創生”であると考えます。皆様はどのように地方創生を考えておられるでしょうか？アベノミクスの成功の延長や、地方創生大臣が考える施策ではないと思います。また官公庁がだす補助金に対して産官学やシンクタンクによってでた答えでもないと思います。強いリーダーシップによる先導役がある方向へ導いてくれることも必要かと思われますが、今一度皆様それぞれが、“今後自分がリタイアした時、後期高齢者になったとき、子供の就職時期がきた時、孫の幼稚園の入園時期がきた時、リニアや自動運転の車両が使用可能になった時、このまま人口が減少し又地方の若者が特にいなくなつた時…などなどを想像してみてください。“たぶんこうなっているんだろうな！いやこうなつてはいけない！だから今これを始めなければいけないんだ！”という思いが次々と湧き出てきましたでしょうか？

皆様それぞれの立場により価値観は違いますが“自分の生まれた故郷が発展していくか現状を維持したい”と考えているかと思います。また“限界集落になってスーパーも電車もバスもない故郷になつてほしくない”と誰もが考えていると思います。

さてそれでは何から始めるのか？何をするためにどんな議論をして進めていくのか？テーマもたくさんあり誰とどれくらいの時間をかけてどんな結果をだしていくのかもわかりません。私は各個人がそれぞれのテーマに対して現在における明確な意見一答えー（YES・NOでも良いし、好きか嫌い、やるやらない、必要不必要他でも良い）をもつべきだと思います。言い換えれば先ず“最終ゴール・目標”を設定することが大事だと思います。協議や議論をしてゴールが変わることは当たり前のことですが、最初からその過程や周りへの影響を考えると自分の思った意見がすごくぶれるということです。

いわゆる“総論優先・各論劣後”的考え方です。みなさんが“これはやろう！これは実現しよう！これは不要だ！”という目標が設定できたら優先的にそのためクリアすべきことを考え、その目標達成に向けてひたすら進むということです。各論不要とか、法律違反したり、無謀な予算をくだり、少数派を無視する、という意味では決してありません。会議をしていてよく耳にするのが

“総論は合ってるんだけど各論を考えるとどうだろうか？”という肯定も否定もせず、どちらかというと議論を先延ばすテーマが本当に多すぎると思います。“今は困らないから！現状維持で問題がでてきたらその時考えよう！わざわざ喧嘩したくないよ！”というのが本音でしょうか？誰でも現状に不満がない場合はあまり改革や変化は望まないものです。ただ“未来がこういうデータに基づいてこうなつていいだろう！”というものが少しでも見えてくれば“明るい未来ゴール設定”を優先し、現在の現状・妥協を変えていく必要があると思います。

特に“津人間は出る杭は打たれるからおとなしくしていよう”という人が多いと言われます。私の尊敬する人のおひとりが10年ほど前の中日新聞のコラムに“出過ぎる杭になれ！”という記事の内容を掲載されていたのを今でも覚えています。

“動”的時代です。“静”的時代が訪れる前に、調整することばかり気にせず、総論という目標に向かって大いに議論していただきたいと思いますし、“真の地方創生”を考えるのは“今”しかないと考えています。

# (公社)津法人会青年部会定時総会開催される

4月26日、津税務署 法人課税第一統括官 小澤伸之様をはじめとする多くの来賓のご臨席を賜り、津都ホテルにおいて平成28年度の定時総会が開催されました。山路部会長を議長とし、その進行の下、平成27年度の事業報告および収支決算と、平成28年度の事業計画および収支予算が報告されました。

## ■平成28年度基本方針

よき経営者を目指すものの団体として、会員の積極的な自己啓発を支援し、納税意識の向上と企業経営及び社会の健全な発展に繋がる事業を行っていきます。

公益法人として、租税教育、講演会研修会の一般公開を中心とした地域貢献活動にもさらに力を入れ、また会員交流も積極的に行います。

### 1. 会員研修

会員の自己啓発を支援し、企業経営の健全な発展に繋がる研修を行います。

### 2. 税制研修

正しい税の知識を身につけ、納税意識の向上を目指し研修会を行います。また、「e-Tax」の普及推進に努めます。

### 3. 会員拡大

会の存続・発展に繋がる積極的な会員拡大を行います。

### 4. 会員親睦

信頼できる仲間作りを目指し、会員親睦の機会をつくっていきます。

### 5. 広報

広報誌である「はげみ」とインターネットのホームページを通じて法人会青年部会活動の広報を行います。

### 6. 関連団体

本会事業への参加並びに三重県法連、東海法連、全法連の各種事業へ参加し連携を深めるとともに、青年部事業活動への参考とします。

### 7. その他

必要に応じて上記の基本方針を達成するための事業を行います。

月	行 事	本 会
4月	総会（26日）	
5月	親睦ゴルフ大会（26日）	総会（30日）
6月	広報誌「はげみ」発行	
7月	研修会	
8月	親睦ボーリング大会	
9月	全国青年の集い北海道大会（8, 9日）	租 税 教 育 事 業
9月	研修会	
10月		
11月	社会貢献事業	
12月	12月例会 広報誌「はげみ」発行	
1月	新年交流会	
2月	研修会	
3月		
役員会は毎月開催 HP更新は随時 地域貢献事業		

## ■平成28年度予算 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

### (1) 収入の部

(円)

項 目	予 算 額	備 考
会 費 収 入	834,000	
行 事 収 入	1,270,000	各種事業収入
本 会 助 成 金	700,000	
雜 収 入	1,000	
合 計	2,805,000	

### (2) 支出の部

(円)

項 目	予 算 額	備 考
事 業 費	1,915,000	
広 報 費	400,000	広報誌等
会 議 費	400,000	
雜 費	20,000	
予 備 費	70,000	
合 計	2,805,000	

# 記念講演会

日 時：平成28年4月26日(火) 17:45～19:00

場 所：津都ホテル5階 伊勢の間

## 「いま時の若手社員の接し方」

～積極性・協調性はどう育てるか～

**講 師** 近畿大学陸上競技部

駅伝監督 佐藤 浩 氏

本年度総会後の記念講演会は、いま時の若手社員の接し方～積極性・強調性はどう育てるか～というテーマで、講師は近畿大学陸上競技部駆伝監督の佐藤浩様だった。三重県四日市市のご出身ということで、津市にも馴染みがあるとのことだった。講演前に、テニスボール2個が机に置かれ、何に使われるかと気になった。

積極性を育てる方法として、大脳への働きかけが効果的という話があった。少し科学的だった。要は相手を褒めることだと精一杯の理解をした。また、「やる」と決めさせることも大事だった。与えられた仕事より、自分で取り組むこと。受身になるより、能動的にさせることで積極性は育つと教わった。

協調性は受けることが大切で、自分の事を話すより、相手の話を聞くことを重視する方がコミュニケーションは良くなるとのことだった。但し、仕事の指示などは、自分の理解と相手の理解が違っていることが多いので、丁寧にする必要があるとのこと。思い当たる節が多いと思った。

冒頭のテーマ以外にも集中力を上げる方法を教わった。2個のテニスボールも、その集中力を上げる方法に使われた。ボールの上にボールを乗せるといったトレーニングだった。周囲には乗せている会員もいたが、僕は一度も出来なかった。集中力が無いと思うより、ボールが悪かったのだろうと思うことにした。



呼吸法や一点集中法も教わった。脳は酸素を大量に使う、呼吸はとても大切とのこと。呼吸法から紹介させて頂くと、①鼻から5秒吸う、②息を3秒止める、③息を10秒かけて吐く、これを数セット繰り返すことで副交感神経が働き、落着いて事に臨めるとのこと。一点集中法は、手の甲などの小さな点を見つめるといったものだった。ホクロでも、小さな点を書いたりしてもよい。それを5秒～10秒見つめるといったものだった。

この呼吸法と一点集中法を実施する前と後での脳力の違いを知るため、簡単な計算をするチェックシートを使用した。個人の差はあるが、会場内全員の脳力が上がっていた。

他にも、司会者とのやりとりや、隣の人とのキャッチボール、スクリーンに向かっての遠近法、数秒間に数種のことを頭に思い浮かべる実験など、自分達で行動した結果を元に説明して頂くことが多く、とても分かり易かった。参考になることが多く、早速試してみようと思った。

佐藤監督には、わずかな時間であったが、懇親会にも出席して頂いた。その席で子供への効果的な働きかけ方なども教えて頂いた。我が子に試そうと思う。

\*\*\*\*\*

## 本年度卒業される方

(順不同・敬称略)

神田 浩伸	有限会社 神田印刷
川森 勉	シトモ電子 株式会社
小林 一仁	丁子屋 有限会社
伊藤 健	トーケントランスポーツ 株式会社
市川 直美	一般社団法人 三重県法人会連合会
竹林 憲明	三重トヨタ自動車 株式会社



# 租税教育活動

毎年恒例となっていました「租税教育」も6回目を迎えました、今回は家城小学校、香良洲小学校の5年生を対象に開催いたしました。



## 津市立家城小学校

平成28年1月13日に家城小学校5年生13人を対象にメンバー12人とシロモチ君で租税教室を実施しました。質問に対しては、活発に手を挙げて答えてもらえると共に、1億円のレプリカとシロモチ君登場では非常に盛り上がるなど、授業をスムーズに進めることができました。

## 津市立香良洲小学校

平成28年1月20日に香良洲小学校5年生42名を対象にメンバー10人とシロモチ君で租税教室を実施しました。本年度の最終回にふさわしい、とてもいい授業となりました。

昨年も実施させていただいた同校は租税教室に対する先生からの評価も高く、「是非、来年も開催をお願いします！」とうれしいお言葉をいただきました。



## 租税教育プレゼンテーション

9月8日から開催されます、第30回法人会全国青年の集い北海道大会（旭川市）にて、津法人会青年部会が名古屋局連を代表して、租税教育活動のプレゼンテーションをおこなうこととなりました。

小学校5年生を対象とした租税教室の出前授業や、「身近な税の使いみち」下敷きの配布、

津商工会議所青年部、津青年会議所、津市観光協会とのコラボレーションによる租税教育活動等のプレゼンテーションおこないます。

優勝を目指し、北の大地にて精一杯プレゼンをおこなってまいります。結果は、次号の「はげみ」にてご報告させていただきます。

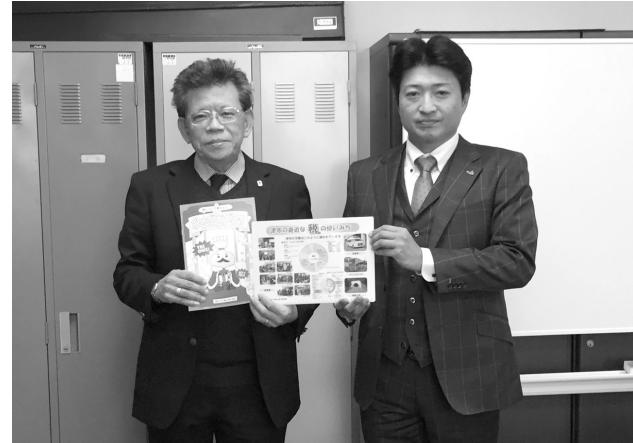
# 三重県教育活動

## 津市教育委員会・三重大学教育学部附属小学校での贈呈式

本年度の租税教室全10回を無事終了後、授業の写真が入った下敷きと租税教育用冊子が市内の小学5年生全員に行き渡るよう、贈呈させていただきました。

我々青年部会が、小学5年生を対象に授業形式で租税教室を始めて5年になります。

贈呈式での話し合いでは、その活動の大切さを受講側・実施側が共に良く理解をしていることが良く分かり、今後もより良い租税教室実施の必要性を感じました。



▲ 津市教育委員会にて



◀ 附属小学校にて

# 2月例会

## 『デザインで会社・お店をゴキゲンに』 ～何のためにデザインは必要だと思いますか～

日時：平成28年2月17日(水) 19:00~20:30

場所：アストプラザ研修室A

講 師 株式会社ゴーアヘッドワークス

蒲 優祐 氏

2月17日アストプラザ研修室に於いて法人会青年部会2月例会を開催しました。今回は株式会社ゴーアヘッドワークス代表取締役 蒲 優祐(かば ゆうすけ)氏をお招きして「デザインで会社・お店をゴキゲンに」というタイトルのご講演をいただきました。開催日前日まではメンバーの皆様から多くの参加表明をいただいていたにもかかわらず、「インフルエンザ」の猛威で当日キャンセルが相次ぎ、最終的には30名程度での研修となりました。

冒頭は蒲氏の提案で少し体を動かし、リラックスした雰囲気の中で講演がスタートしました。「どうしてデザイナーになったか」と言うお話から、「デザインの持つ可能性」、「デザインによるブランディング」のお話など、幅広く活躍する蒲氏ならではのバイタリティ溢れるお話で1時間半はあっという間に過ぎました。

今まで何気なく目にしていた看板や商品パッケージなどが、実は大変に意味あるものであり、知ら

ず知らずのうちにそのサービスや商品を手に取らされているという事実に改めて気づかされました。まさにデザインの持つ可能性を思い知らされるお話をしました。また、蒲氏の仕事の進め方にも共感する部分が多くありました。打ち合わせを重ねる事でクライアントのバックボーンまで理解し、そのサービスや商品の将来まで見越した提案を行うというブランディング方法に感嘆しました。「レストランで料理をどの順番で、どのように並べるかもデザインだ！」の言葉を頭に刻み込み、私も接客の世界に身を置くひとりとして、立ち居振る舞いまでデザインしながら今後の仕事に取り組もうと決心しました。

お忙しい中、快く講師を受けてくださった蒲氏、そしてご参加いただきました会員の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



### 青年部会

### 親睦ゴルフコンペ

日時：平成28年5月26日(木)

場所：三重フェニックスリゾート

今回で3回目をむかえる親睦ゴルフコンペが5月26日三重フェニックスリゾートで開催されました。

前日の雨の予報とはうって変わり、当日はプレイに支障のない涼しい日となりましたが、グリーン上では激しい熱戦が繰り広げられました。

当日は伊勢志摩サミット真っ只中にも関わらず、お忙しい中をたくさんの方々が参加して頂きました。

そんな中、前回優勝の山路部会長を僅差でおさえてアンダーパーで優勝したのは、原田朋幸君でした。おめでとうございます。

私たちブービーチームも終始和やかなムードで、楽しくプレイすることができました。

ゴルフは年齢を重ねてもできる代表的なスポーツですが、とことん技術や勝敗にこだわるか、楽しむことを優先させるか…。

どのような追求も身体を動かすことには変わりはありません。球技の中ではとても身近で洗練されたスポーツだと思います。

これからも目的は違えどゴルフを通してたくさんの仲間が集えることができる事を期待します。

コンペ終了後は表彰式が行われました。部会長の意向で、上位者に限らず参加者全員に豪華賞品が贈呈され、最後まで大いに盛り上がりました。

参加頂いた方々をはじめ、ご協賛頂いた企業の皆様方、本当にありがとうございました。



# 7月例会

## 『2代目の生きる道』

～地位と名誉を捨てて挑む森平社長のガムシャラ仕事術～

日時：平成28年7月22日(金) 19:00～20:45

場所：アストプラザ研修室

講 師 株式会社ジュート 森平 茂生 氏

7月22日アストプラザ研修室に於いて、津法人会青年部会7月例会を開催しました。今回は「2代目の生きる道～地位と名誉を捨てて挑むガムシャラ仕事術～」と題して株式会社ジュートの森平茂生氏をお招きしての開催でした。

森平氏と言えば、高級ギターブランド「モーリスギター」をブランディングした方で「モリダイラ楽器」のご子息です。また、一大旋風を巻き起こしたあの「クロックス」を日本に持ってきた男と言えばほとんどの方が知っていると思います。しかし、そこから想像できるものとは180度違う生き方をされてきた森平氏のお話は冒頭から驚きの連続で、終始強いエネルギーを感じる刺激的なものでした。「現状に満足しない」「人生一度きり、後悔しないように自分に素直に生きる」「興味が湧いた事は自分の目で、自分の足で確かめる」「自分の為、そして自分を支えてくれる人の為に努力を怠らない」……。そんなキーワードの数々

が随所にちりばめられた熱い講演で時間もオーバーするほどの盛り上がりとなりました。一般応募で参加された方もあり会場は満席でしたが、きっとご参加いただいた方全員に満足いただけた研修ではなかったかと思いますし、講演後には「明日から何か新しい事にチャレンジしてみよう」と思われた参加者も一人や二人では無かったのではないかと思います。

お忙しい中、講演してくださった森平先生、準備にご協力いただいた皆様、そしてご参加いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



# 親睦ボウリング大会

日時：平成28年8月3日(水) 18:00～

場所：津グランドボウル



本会との合同事業でもあります8月例会「親睦ボウリング大会」が、8月3日（水）に津グランドボウルにて開催されました。

夜とはいえ夏の盛り、クーラーの効いた広い会場も113名（子供31名含）の盛り上がりには勝てず一気にヒートアップ！！

和気あいあいとしたゲームもいつしか真剣味を帯び、各レーンのあちらこちらで歓声とも悲鳴ともつかぬ声があがりました。

優勝 石川 雅敏氏	三重コープ産業㈱
2位 南出 勝行氏	三重コープ産業㈱
3位 雲井 一樹氏	㈱中川製作所

例年以上の参加者のため、第Ⅱ部懇親会も会場を拡張して頂きましたが、お楽しみの東洋軒のケータリングもあつという間になくなり、引き続いての表彰式も豪華賞品が飛び交う様は、まさに夏祭りのバナナの叩き売りのようでした。もってけ！ド〇ボー(笑)

たくさんのご協賛のおかげで、参加者全員とお子様には素晴らしい賞品を持って帰って頂けました。会社帰りの皆さんには疲れを癒し明日の英気を養ってもらい、子供達には楽しい夏の日の思い出作りのひとつになっていれば幸いです。

# いきいきはげみ!

第25回

## 「そうだ！鳥に会いに行こう！」 「掛川花鳥園」の巻き

皆さん、鳥はお好きですか？唐揚げとか、焼き鳥とか食べる方の鳥ではありません。今から3～40年前（筆者がちょうど小学生の頃）は、各ご家庭に必ずセキセイインコかオウムが居た様な記憶があるのですが、近年は鳥を飼っている家も少なくなったような気がします。その頃の記憶からか、妙に小鳥達と遊びたくなり、鳥達と戯れることのできる「掛川花鳥園」へ出発することになりました。

掛川花鳥園は東名高速道路の掛川ICより車で10分程度の場所に位置します。渋滞がなければ車で津から約2時間半といった所でしょうか？

それでは、早速園内に入つてみましょう。まず最初にフクロウ達が沢山展示されています。鷹のような長い尾を持った「オナガフクロウ」は本当に小さくて可愛らしいです。オレンジ色の瞳が可愛らしい「アフリカオオコノハズク」は、敵が近づくと警戒して体をすぼめたり、カックンカックンとおじぎをするといったしぐさがまた非常に面白いです。一際ユーモラスなのは「メンフクロウ」ですが、本当にお面を付けているような顔をしていて、フクロウの中でも一番目立っているのではないか？フクロウはみんな非常におとなしくて可愛らしいです。最近、フクロウカフェと言って、フクロウと戯れることのカフェが非常に人気ですが、確かにこれだけ皆んな可愛らしくておとなしいと人気のできるのも頷けます。

フクロウコーナーを抜けるとプールが通路の両サイドにありますが、一方は「マガモ」が沢山泳いでおり、エサをあげることができます。「マガモ」は本当にちびっこ達に大人気で、エサの周りに沢山泳いで寄ってくる姿は本当に見てて可愛いです。またもう一方のプールには「ケープペンギン」が住んでいますが、こちらもちびっこ達に大人気。プールの周りから皆なかなか離れようとしません。

さて、フクロウ・マガモ・ペンギンを満喫した後は、インコの大群が襲ってくる（笑）インコのスイレンプールエリアに入りますが、エサをあげると本当に大変な状況になります。沢山のインコが寄ってきて非常に楽しい時間が味わえます。このエリアに最も多く生息しているのは「コガネメキシコインコ」で、オレンジ色と緑色の羽をまとい、非常に甲高い大きな声で鳴くのが特徴ですが、この集団がとにかく凄いです！ごはん（果物）を容器ごとひったくつていくぐらいの勢いで、恐ろしく群れを成してやってきます。この群れが飛び回っている姿はもう圧巻の一言！それも我々の頭レスレの高さで平気で飛び回っています。鳥好きな方にはたまらんですが、鳥嫌いの方は絶対に耐えられないでしょう（そもそも、鳥嫌いの方が来園されるとは思えませんが…）

おとなしいフクロウと非常にやんちゃなインコ達の対比もまた楽しいです。

このエリアの奥では、ポケモンにそのまま出てきそうな全身エメラルドグリーンの羽をまとった「リビングストーンエボシドリ」「ギニアエボシドリ」や青藍色の光沢を持つ非常に美しい「インドクジャク」が優雅に地面を歩いており、一層インコ達のやんちゃさを引き立てております。

さて、このエリアを抜けるといよいよ、非常に珍しい方の登場です。

顔はペリカンの様な顔をしていますが、この方、立っているのは良いのですが全く動きません。寝てるのか～？と何度も見るのは、寝ていません、起きています。そう、これが動かない鳥かつキモかわいいで有名な「ハシビロコウ」さんです。かなり大柄な鳥で、本当にユニークな顔をしています。日本でこの「ハシビロコウ」が見れるのは現在、四箇所ぐらいではないでしょうか？で、ずっと見ていているのですが、本当に動きません。あつ、ちょっと動き出したと思ってもまたずーっと止まっています。よくもまあこれだけじっとしていられるなど、逆に感心してしまいました。

次のエリアでは、水辺の鳥達を沢山見ることができます。片足でよく立っていられるなあと、バランス感覚抜群の「オオフラミンゴ」「クロエリセイタカシギ」はじめ、ブラジルの国鳥でもあり、オレンジ色の非常に大きな嘴をもつ「オニオオハシ」がありますが、この「オニオオハシ」、非常に人懐っこくて、エサやりが非常に楽しい鳥です。嘴が非常に大きいので怖い鳥なのかな？と感じてしまうのですが、全く逆で非常に優しくて可愛い鳥です。

さて、ここからは屋外エリアに出ますが、広大な池にはおなじみの「ハクチョウ」そして池の奥の方には、「ペリカン」が住んでいます。飛んでしまわないのかな？と思うのですが、住み心地が良いのでしょうか？他の場所には行かないみたいです。

屋外エリアには、非常に頑丈な鉄の柵で覆われたエリアがありますが、そこには非常に強そうな鳥が一匹。「ヘビクイワシ」ですが、ヘビその他小動物に足で蹴りを入れて弱らせてから食べるというつわものです。足の筋肉がサッカー選手のように凄いです。

さて、屋外エリアにはもう一種類非常に大きな鳥達がいます。それは、「エミュー」です。こちらもエサやりが出来るのですが、正直、大きすぎて怖いです。喧嘩したら絶対に負けそうです。でも意外とこちらもおっとりして人懐っこいのが特徴で、慣れてしまうと非常に可愛い鳥です。

鳥達と戯れることができて、非常に珍しい「ハシビロコウ」もいるこの「掛川花鳥園」、是非とも一度、ドライブがてらにお寄り頂ければと思います。鳥達は本当に華やかで、我々の心を和ませてくれます。インバウンド効果か、海外の方も非常に沢山来られており、楽しんでおられました。

ひとつだけ引っ掛かった点が…

この巨大な温室の中で、バイキングで食事をとることが出来るのですが、鳥の唐揚げもありまして…。で、結局鳥の唐揚げを食べてしまったのですが、鳥と戯れて鳥の唐揚げを食べて自分が妙な気持ちになってしまいました。